

◆第1章 計画の策定にあたって

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>第2項 策定の背景(2 市民意識調査結果) P12-16</p>	<p>・アンケート等で市民の望んでいる事は医療福祉の充実、子育て支援、防災の充実。今までの反省と効果を踏まえてという事だが、反省点と効果は具体的にどう考えているか。</p>	<p>・現在の計画の検証を行うとともに、新たに市民意識調査を行った。ほとんどの項目で、市政に対する満足度は高まっている。アンケート結果を踏まえ、今後津市が目指すべき方向が明確になったと思う。これを受け今回の目標の優先順位が決まり、新たな10年間の取組を総合計画の中で目標別に挙げた。</p>
<p>第3項 今後10年間の 展望 1 計画の枠組み (3) 財政構造) P21</p>	<p>・「ア 財政構造の枠組みの考え方」の最後の段落にある市債残高の縮減の意味は。</p> <p>◆答弁①を受けて ・縮減とは、今後事業を縮小していくという意味ではないのか。しなければならぬものは、何としてでもしなければならぬと考えるが。</p> <p>◆答弁②を受けて ・今以上の財源の確保は無理だと思うが、財政調整基金の一定の確保はしていかなければならない。サオリーナのつけがまわってくる。しかしながら住民サービスを低下させないよう、必要なことは必要なものとして、やっていかなくてはいけない。「縮減」という文言について考えなくてはならないと思うが一考を。</p>	<p>◆答弁① ・25ページをご覧いただきたい。見込み値だが、市債残高は平成29年度が最も多くなっている。毎年返していく額(公債費)も増えるが、少しタイミングがずれているのは、据え置き期間が設けられているため。 ・今後、平成34年から35年あたりに公債費のピークを迎え、急激に平成39年に向けて減っていく。借入れが減っていく中で、市債残高を縮減し、財政構造を安定的なものにしていくという考えのもと算出したもの。</p> <p>◆答弁② ・「このまま行くとこうなります」とお示しながらも、そうならないよう市一丸となって財源の確保に努めるとともに、優先度、緊急度を勘案し、事業の選択と集中を行いながら、財政運営をやっていきたいという主旨である。 ・工夫なくして今後の財政運営は出来ない。事業の集中と選択、その時に活用出来る財源を徹底的に発掘しながら、今後全庁一丸となって取り組んで行く事も必要になる。</p>
<p>第3項 今後10年間の 展望 1 計画の枠組み (3) 財政構造) P23</p>	<p>・計画との関係性については、ぼやけているところがあるが、財政構造の「その他の経費」のところでは、保険会計への繰出金については明記されている。そのあたりの考え方は。</p> <p>◆答弁を受けて ・流動的な部分がある中でものとして受け止めておく。</p>	<p>・財政構造の記載の仕方はいろいろ議論した。今回お示したものは現時点において市政、国政の財政の流れの中で考えられているものを考慮し、すう勢として示している。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>第3項 今後10年間の展望 1 計画の枠組み (③ 財政構造) P23</p>	<p>・10年後の予想で投資的経費が21億円しかないが大丈夫なのか。これで困っている人を救えるのか。扶助費はもっと上がるかもわからない。交付金はもっと減らされるかもわからない。そのような可能性はないと言えるのか。</p> <p>◆答弁を受けて</p> <p>・国の借金がある中で、生活保護の方が、生活が安定しているというような状況である。よく考えて欲しい。</p>	<p>・今回お示したものは今の時点ですう勢として整理した数字で、1年後にそれがどうなっているかは、社会状況など変わっていれば、数字は動くものであると思う。</p>
<p>第3項 今後10年間の展望 2 これからの10年間の展望 P27</p>	<p>・「イ 防災・減災対策の強化」として記述されているが、国では強靱化計画が出され、ほとんどの政令都市においても計画が立てられていると聞いているが、津市の取組は。</p> <p>◆答弁を受けて</p> <p>・津市の弱い所を念頭において、日常的に考えていかないと起こってからバタバタするというようなことがあるので、関連性のあるものを合わせて考える必要があると思う。</p>	<p>・復旧・復興計画について、具体的なものは実際に起こらないとわからない部分が多々あって、早い段階から計画を作るのではなく、計画がスムーズに作れるようにどうしていくかという方針を先に決めておくべきと被災地に応援に行った職員から聞いている。平成28年度の地域防災計画の修正の中で方針について取り入れたところ。</p>
<p>第3項 今後10年間の展望 2 これからの10年間の展望 P27</p>	<p>・総合計画ということで、細部まで書けないのは理解するが、現状と課題と施策がほとんど一緒に、漠然としすぎていないか。</p> <p>・また、総合計画は公共施設等総合管理計画とも関連があると思うが、「ウ 公共施設の総合的な管理」として記述が少しあるくらいで、関連が分からない。一方で財政見込みでは公共施設を抑えていくという記述になっていることから、計画との関連性をもう少し具体的に記載できないか。</p> <p>◆答弁を受けて</p> <p>・他の計画との関連性を具体的に示す必要があると思う。</p>	<p>・先に公共施設等総合管理計画が出来たのでそういうご指摘かもしれないが、総合計画が最上位計画であるため、具体的な内容は公共施設等総合管理計画の中で整理し、記述することになる。</p>

◆第2章 これからの10年間のまちづくり

◇第1項 将来像

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
将来像 P30	・次期総合計画案のスローガン(将来像)について、現行の計画のスローガンと照らし合わせて、どう考えているか。	・今までの計画の理念を活かしつつ、新たな10年を始めるという意味で新たなスローガンを掲げた。 ・現行計画は、合併時に策定された新市まちづくり計画を受けて、めざすべき将来像の実現に向けた具体的な記載を伴う実施計画であった。次期計画は合併の特例措置がなくなる中、自立したまちづくりを進めることが大事と考える。 ・今後策定する計画は現行計画のように具体的な事業を掲げず、柔軟に対応できるスパンの長い計画が求められているという意味で今回の計画案を策定した。

◇第2項 目標別計画

(目標1 子どもたちの未来が輝くまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
基本政策1「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」 P32 ○出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	・出会いは大事だと思う。人口減少対策として、出会いイベントは従来通りにやるということしか感じないが、今後10年と思うと、もっと何かあるのではないか。 ◆答弁を受けて ・もっと力を入れてもいい事業だと思うので、書き方をもう少し工夫していただけたらと思う。	・出会い応援を始めて3年目となり、少しずつ職員もノウハウを蓄積してきている。参加者アンケート等を参考に今後どう発展させていくか考えていく。
基本政策1「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」 P32 ○出会い・結婚・出産しやすい環境づくり	・出会いのイベントを平成28年度は2回行ったが、今後どうするのか。 ◆答弁を受けて ・このような行政支援は画期的なことだと思うので、しっかりと取り組んでほしい。	・今年度は職員プロジェクトチームによって2回開催予定。また、地域の様々な団体への補助金制度もあるので、引き続き取り組んでいく。

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策1「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」 P32 ○出会い・結婚・出産しやすい環境づくり</p>	<p>・2つ目の●に関連して、すべての中学校に産婦人科医、助産師などの専門家を派遣できているのか。</p>	<p>・ライフプラン教育として全校で実施してきており、今後も実施していく予定。</p>
<p>基本政策1「安心して子どもを産み育てられる環境の充実」 P32 ○出会い・結婚・出産しやすい環境づくり</p>	<p>・3つ目の●に「不妊治療や不育症治療を受ける夫婦の負担軽減」とあるが、支援が今よりも増えると理解して良いか。</p>	<p>・今ある制度の堅持、維持をしていくという意味。</p>
<p>基本政策2 「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P33～35</p>	<p>・課題に「市全体としての学力向上に向けた取組が必要となっ ています。」(3つ目の○)とあるが、どういう現状があっ て、学力向上に向けた取組が必要なかがわからない。よく知 っている人が見れば「全国と比べて家庭での学習時間は短 い傾向がみられます。」という現状がそこにつながるとわ かるが、誰にでもわかるようにもう少し書いておくべきで はないか。 ◆答弁を受けて ・現状でこういった問題があっ て、学力の向上に取り組む必要があるので、後ろに掲げた 施策を行うという流れを明確にしていきたい。</p>	<p>・「学力」というものには色々と要素がありますので、ご指 摘を踏まえて考えさせていただく。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2 「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P33</p>	<p>・現状の4つ目の○に「全国と比べて家庭での学習時間は短い傾向がみられます。」とあるが、家庭での学習時間を長くするためにどういったことを考えているのか。 ・家庭学習と学校教育は、同じようなものと捉えている感があるが、全く違うものである。</p>	<p>・子どもたちの自主性を高めるための働きかけの事例をまとめた「家庭学習の手引き」を各家庭に配布し、指導も行っている。スマホの使い方なども含め、家庭に啓発していく。 ・家庭学習と学校教育は、それぞれ担うべきことは違う。一体的に進めていくという意味である。</p>
<p>基本政策2「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P34</p>	<p>・課題の下から3番目の○で、「～学校においては、特別な支援を必要とする児童生徒等の増加により、現行の体制では対応が困難になっています。」とあり、今まででもそうだったと思うが、現行体制では困難という課題に対し、増員などの予定はあるか。</p>	<p>・特別教育支援員については、昨年度から9人増員している。また、先生方のスキルアップは継続的にしていくものと考えている。</p>
<p>基本政策2 「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P35 ○学校教育の充実 ※目標5の○高等教育機関との連携・充実にも言及(P62)</p>	<p>・「学校教育の充実」の3つ目の●に「子どもたちの学習意欲を高め、学力の向上につなげます。」とあるが、そんな簡単に学習意欲は高まるものではない。どのように高めていくのか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・学習意欲は周りからの働きかけで高まるものではなく、子ども自身が目標を持った時に初めて勉強しようと思うもの。中学生までの段階で、将来の人生設計について考えられるようにすべきではないか。P62の高等教育機関との連携には高等学校なども含めていくべきではないか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・早い段階でキャリア教育を行うことは、後々地元で就職するとか、Uターン就職をするなど、人口流出対策にもつながっていく。</p>	<p>◆答弁① ・学習意欲を高めるためには、当然学校でも様々なことに取り組むが、家庭教育も大事。一方的に「勉強しなさい」ではなく、子供たちの自主的なやる気が出るような取組を掲載した「家庭学習の手引き」を作ったので、学校を通じて浸透させていく。</p> <p>◆答弁② ・教育内容についての高等学校との連携は今後の課題。子どもたちへのキャリア教育は、発達段階に応じて職場体験を行うなど、早い段階で進路を考える機会を設けているので、引き続き取り組んでいく。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P36 ○健やかな育ちへの支援</p>	<p>・1つ目の●に「一元的な相談窓口を設置する」とあるが、内容について具体的に教えてほしい。</p> <p>◆答弁①を受けて ・ワンストップではない、ということか。それであれば文言を変えなければいけないのでは。</p> <p>◆答弁②を受けて ・現在もすぐに対応していると聞いているが、このように書く以上、きちんと示すことが必要ではないか。</p> <p>◆答弁③を受けて ・期待している。</p>	<p>◆答弁① ・窓口一元化の意味だが、将来的な目標はワンストップであっても1つの課、1つの組織ですべてということは難しいので、受ける窓口を明確化して連携体制をしっかりと整えるということ。</p> <p>◆答弁② ・今も子ども支援課が一元的にまずお伺いをして、中身によって教育委員会、子育て推進課、障がい福祉課へつなげるという体制でやっている。さらにそれをしっかりしたものにしていく。</p> <p>◆答弁③ ・より充実していきたいという思いを持って、検討する。</p>
<p>基本政策2 「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P36 ○健やかな育ちへの支援</p>	<p>・●の2番目「関係機関、団体等の連携により児童虐待の早期発見・早期対応を図る」とあるが、関係機関とはどのようなところを想定しているのか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・虐待に至らないために保護者の育児疲れや不安を軽減するということが書かれているが、その段階の更に前、つまり「望まない妊娠」をどうするのかという記述が必要ではないか。望まない妊娠から虐待につながる人が多いので、以前中学校ではライフプラン教育のプログラムがあったと思う。現在もやっているのなら、そういう内容も含めるべきではないか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・現在進行形で行っている事業であれば、総合計画に明記すべきではないか。健康福祉部だから教育委員会のプログラムのことは書かないということではなく、虐待を未然に防止する、そのための教育という関連のある話なので、記述について考えていただきたい。</p>	<p>◆答弁① ・津市には既に児童虐待等防止ネットワークがあり、自治会、民生・児童委員、県(児童相談所)、警察、学校関係といった児童虐待に関わりのある機関で構成されている。これらの機関を想定している。</p> <p>◆答弁② ・現在も全ての中学校で「ライフプラン教育」ということで、少子化対策の一環として、また望まない妊娠や妊娠の適齢期などの話を含め、健康福祉部と教育委員会が連携して(教育委員会が主体)行っている。</p> <p>◆答弁③ ・現在の記述では読み取りにくいというご指摘かと思うので、どこまでということも含めて考える。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P36 ○健やかな育ちへの支援</p>	<p>・一番下の●にある「放課後子供教室」とは何か。</p> <p>◆答弁①を受けて ・児童クラブは費用負担があるが、子供教室はどうなるのか。また、今後増やしていく予定なのか。</p>	<p>◆答弁① ・放課後児童クラブと類似しているが、放課後児童クラブは登録制であるのに対し、放課後子供教室は全ての子どもが対象であり勉強やスポーツの機会を提供する場となる。共通点はどちらも安全安心な子どもの居場所を確保するという点。</p> <p>◆答弁② ・定額の負担はないが、材料費や保険等の負担はある。 ・津市として、すべての学校区に安全安心な居場所を作るということを最優先にしている。市内には放課後児童クラブがないところが6地区あり、地域の声を聞きながら設置の検討を進めているところ。そのため、放課後子供教室を今すぐ全てということではない。</p>
<p>基本政策2「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P36 ○健やかな育ちへの支援</p>	<p>・最後の●に放課後児童クラブの設置や運営の支援に取り組むとあるが、実際に現場で聞くと運営が大変で、この辺りをしっかりと取り組んでほしいという声がある。具体的なビジョンはあるか。</p> <p>◆答弁を受けて ・運営支援が出来ていないという印象なので、市としてできることはやっていただきたい。労務士や税理士の派遣などが必要になることも考えられるので、力を入れてほしいと思う。</p>	<p>・昨年度までに青少年担当が現場を訪問し、色々と意見を伺っている。今年度、事務の手助けとなるようなマニュアル作成をしていきたいと考えている。また、先日開催された総合教育会議でも事務的な負担のことは課題として出たので、今後取り組んでいく。</p>
<p>基本政策2「子どもたちの生きる力を育み成長を支える環境の充実」 P36 ○健やかな育ちへの支援</p>	<p>・放課後子供教室について、今までの津市の基本は学童保育が中心であるが、地域の事情もあって、学童保育がない区が6小学校区ある。あくまでもベースは学童保育だが、学童を補完するという位置付けとして理解して良いか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・補完するものではないという事だが、学童保育のある所にも要望があれば放課後子供教室も設置していくという考えも含まれているか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・学童保育未設置校区に10年間で設置したいという事か。</p> <p>◆答弁③を受けて ・学童保育との連携強化を図る中でのものとして求める。</p>	<p>◆答弁① ・放課後子供教室は、学童保育の機能全てを補完出来るものではないと考えている。全ての小学校区に安心安全な子供の居場所として、関係性を踏まえながら学童保育のない所に放課後子供教室を設置していきたいと考えている。</p> <p>◆答弁② ・今の時点で明確な考えは持っていない。それも含めて今後の検討。</p> <p>◆答弁③ ・そうとも限らないが、そういう所が中心になると認識している。学童保育と放課後子供教室の行き来は可能と考えている。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>目標1全般 P31-36</p> <p>※すべてのやり取りを記載しているわけではなく、計画に関連するやり取りを抜粋しています。</p>	<p>・子供が健やかに成長できる環境を確立するとはどういうことか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・家庭教育は確かに重要だが、ここで問われているのは、学校教育に対する委員会の考え方であって、学校教育自体のこと。地域も昔と比べて事情が変わっている。あてになるのか。昔は近所の方は知らない子でも叱っていた。今はそんなことしたら大変なことになる。「地域のお力を借りる」って具体的には何を言っているのか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・防犯や交通の話ではなくて、地域の人がどういう教育が出来るのか、学校教育の話だ。どうやって基本政策で掲げた環境を実現するのかということ。</p> <p>◆答弁③を受けて ・引きこもりやニート、不登校をどうやって直していくのかという具体的なことが書いていない。</p>	<p>◆答弁① ・学校教育の責任もあるが、学校だけでは出来ない事もあるので、家庭教育に対する支援、地域の協力も得て、環境をつくっていく。</p> <p>◆答弁② ・現状はご指摘の通り、昔に比べると変わっていて、自然発生的には難しいからこそ、意図的に組織化するとか、少しでも以前のような、地域の力を借りて子供達を育てていきたいと考える。地域の力を借りる方法は、例えば、学校の授業に来ていただいて、地域の文化等について教えてもらったり、昔の遊びを教えてもらったり、そういう中で交流を深め、子供達の登下校を見守っていただくなど、様々な形で地域の力を借りている現状がある。</p> <p>◆答弁③ ・子どもたちが健やかに成長できる環境を作るということについて、学校教育の責任は、学校の中で子供達が安心して学校生活を営む事が出来るということ。いじめの問題、コミュニケーションの問題、少しでも子供達にとって生活しやすい学校環境をつくるという意味で責任を果たしていく。</p> <p>◆答弁④ ・総合計画は大きな計画なので、このような記述となる。</p>

(目標2 安心して健やかに暮らせるまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策1「社会の変化に対応した福祉の充実」 P39 ○障がい者(児)福祉の充実</p>	<p>・1つ目の●「福祉就労」とはどういったことか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・なかなか一般就労には結びつかず、1か月1万円ちょっとの賃金で通う人も多い。優先調達を行うなど、そういう人たちをもっと支援するというような文言が入らないか。</p>	<p>◆答弁① ・障がい者の通所施設の中に就労継続支援事業所というところがあって、そこで働くことを指す。</p> <p>◆答弁② ・ここに表現したのは、あくまでも障がい者自身がだんだん一般就労に近づいていって、経済的に自立を目指していく取組のことを目標として掲げている。優先調達も行っていく。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「健康づくりの推進と医療体制の充実」 P41</p>	<p>・課題の3つ目の○「ときどき医療、ときどき介護を受けながら」とあるが、これは金がかからないようにしようということか。医者と話すとこが精神的な支えになることもある。「ときどき」ではあまり医者にかかるなという意味に読める。</p> <p>◆答弁を受けて ・そのようには読めないので、表現を考えてほしい。</p>	<p>・高齢者が医療や介護を受けながらも地域で自分らしく生きられるように、必要な在宅医療・介護連携体制を整えようという趣旨の記述としていいる。「ときどき」はあまり医者にかかるなという意味ではなく、健康で長生きできるようにという意味。</p>
<p>基本政策2「健康づくりの推進と医療体制の充実」 P43 ○地域医療・救急医療体制の充実</p>	<p>・地域医療構想の中で、ベッド数を800減らすという計画になった。連携を進めていくというが、より救急医療が困難な状況になるのではないか。</p>	<p>・地域医療構想においては、ご指摘のとおりベッド数を減らしていく方向性が示されているが、今後どうしていくのかという議論は地区別の会議などで予定されている。また、救急医療体制については、病床数が減らされることを懸念しているところだが、津市には2次だけでなく3次救急も担っている三重大学病院もある。</p> <p>・持続可能な救急体制は維持していきたいが、今後見直しが必要になることもあるかと感じている。</p>

(目標3 いのちと暮らしを守るまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策1「いざという時の備えの強化」 P44-46</p>	<p>・現状の1つ目と課題の1つ目と同じことが書かれていて、施策の内容では自助・共助・公助による連携と支援はあるが、人命に関わるような災害が起こったらどうしたらいいのか、公助という点で具体的な内容が書いてない。自主防災組織や住民組織に任せっぱなしになっていないか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・自主防災組織も年々変わっていくなか、最新の情報は行政が持っていることから、行政の主導が大事だと思うがいかがか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・ポイントは初期の逃げるとい事、命を守るという事なので、いろんな災害があるが、行政が主導でやっていただきたい。</p>	<p>◆答弁① ・地域における避難行動については、自主防災組織が中心になって避難行動をとる事が前提で、どのように地域に合った避難計画を作るか、我々がそこへ赴いて一緒に考えることが大事だと考えていて、そういう部分で公助として支援していく。</p> <p>◆答弁② ・それは地域防災計画等で具体的な避難行動をとるにあたって考えるべき事だと思う。総合計画は10年のスパンで大きな方向を考えるというものなので、別の地域防災計画、地区防災計画の中で対応していく。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「防犯・交通安全対策の強化」 P48</p>	<p>・現状の○の3つ目、「高齢者ドライバーによる交通事故が多発しています。」続いて課題の3つ目「交通安全対策のさらなる推進と交通安全意識の高揚が必要です。」とあるが、本当は運転免許証を高齢者みんなが返納出来ればいいが、三重県や津市はまだまだ車が必要な地域である。この問題は難しいが、公共交通の整備がもっと必要なのではないかと。</p> <p>◆答弁①を受けて ・これからの10年間を描いたプランであるから理想論も書いてあるが、もっとこの問題は踏み込んで書けると思う。</p>	<p>◆答弁① ・高齢者の運転免許証の返納を促すということは、コンパクトなまちづくりとともに、公共交通の利便性の充実が必要であると認識している。</p> <p>◆答弁② ・地域の意見や地域交通網の協議会もあるので、そこでの議論も参考に交通網の計画を策定していく。</p>

(目標4 心やすらぐ住みよいまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「持続可能な都市基盤の整備」 P54-56</p>	<p>・課題の一番下の○の市営墓地の関係で、墓地区画の管理者の不在について、今後出てくる最大の課題だと思う。どういう手立てを考えているか。30~50年後もっと複雑な問題になると思う。</p> <p>◆答弁①を受けて ・無縁仏の問題について、今後の考え方は。</p> <p>◆答弁②を受けて ・宗教法人はお金がかかる。無縁仏はどこからもお金は出ない。それについてはどう考えるのか。</p> <p>◆答弁③を受けて ・今後の課題だと思う。皆で勉強していきたい。</p>	<p>◆答弁① ・現在は管理者が居ないところはないが、懸念されている。管理者との連絡を密にしていきたい。考え方の一つとして、共同の墓地という事も考えられるが、今後の検討課題。</p> <p>◆答弁② ・無縁仏の宗教法人の墓地もある。そういったことも踏まえつつ、市として将来的なあり方を考える事になる。</p> <p>◆答弁③ ・将来的な考え方の手法の一つという意味。無縁仏も含めて共同の墓地をつくるというのも検討の一つだと考える。</p>
<p>基本政策3「快適に暮らせる都市空間の形成」 P59 ○緑化の推進と公園緑地の整備</p>	<p>・●の4つ目について公園のトイレの洋式化はどうなっているか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・洋式化・UD化するための計画はあるか。 ・公園はいろんな層の人たちが利用するので、ニーズに合わせ、計画的にやっていただきたい。</p>	<p>◆答弁① ・公園のトイレの洋式化はあまり進んでいないのが現状。ユニバーサルデザイン化ということもあるので、今後取り組んでいく。</p> <p>◆答弁② ・洋式化・UD化に特化した計画はない。</p>

(目標5 自分らしく心豊かに輝けるまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
基本政策1「生涯を通じた学びの推進」 P62 ○生涯学習の推進	・1つ目、2つ目の●で公民館の位置付けについて記述されているが、気軽に安全に利用できるようにするには、歩いて通えるということも高齢化が進むなかで大切だと思う。公民館が求めていることに対する取組は。 ◆答弁を受けて ・お知らせなども含めた工夫が大切だと思うので、その辺りもお願いしたい。	・公民館講座の中には公民館で行うものに加え、公民館以外の場所で行前講座として行うことで対応していく。新しく公民館を建てることは公共施設等総合管理計画との整合性もあり、なかなか難しい面があるので、ソフト面で工夫していく。
基本政策2「スポーツや文化の輪が広がる社会の形成」 P63-64	・現状の一つ目の○で国の目標とする実施率と津市の実施率が記述されている。このような分析はあるが、目標についてはどうか。 ◆答弁①を受けて ・目標値は設けずに、徐々に改善していく、という認識で良いか。 ◆答弁②を受けて ・「○スポーツの振興」の施策の一つ目の●で、イベントの開催とあるが、運動会等を単発的・散発的にやっても習慣化につながるのかは疑問だ。日頃からの運動という観点で、参加しやすいことが身近にないと目標にたどり着かないのではないか。	◆答弁① ・津市におけるスポーツ実施率は独自の目標は定めていないが、アンケート調査によると年々高まってきている。今後も高めていく。 ◆答弁② ・国の目標とはまだ少し開きがあるので、まず本市の数値が少しずつ高まるよう事業を進めたいと考えている。 ◆答弁③ ・地域等で行われる運動会なども取組の一つであるが、健康増進のためにウォーキングをされる方もいる。それぞれに応じた取組が日頃の運動習慣につながっていければと考えている。
基本政策4「誰もが尊重され暮らしやすい社会の実現」 P69 ○人権・平和施策の推進	・施策の一番下の●で「戦争を知らない多くの市民に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会を提供し、市民の平和意識の向上を図ります」とある。散発的に戦争展などが開催されているが、今後はどういうものができるか考えるか。 ◆答弁を受けて ・戦争を知っている世代がいなくなってくる状況の中で、伝える方法として、常設の展示などもきちんとしていく必要があり、継続性が大事かと考える。	・例年8月は平和の月間という事で市民団体と一緒に戦争展をやっている。他には折り鶴事業として、市民から折り鶴を募集し、毎年広島での平和式典に献納させていただいている。今後、それらを継続していく中で、市民団体と協力して後世に伝えていく方法も含めて新しい事業を検討していく。

(目標6 魅力と活力を生み出すまちづくり)

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
<p>基本政策2「地域に根付く商工業の振興」 P72</p>	<p>・現状の4つ目の○「市内には、名物や魅力的な物産品などが多数あるにもかかわらず、広く知られていない状況です。」とあり、課題でも認知度向上や情報発信のことを記述しているが、具体的にどのようにしたらいいと考えるか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・中途半端に費用をかけるだけでは無駄になる。他市の物産に味は負けていないのになぜ売り上げに差が出るのか。</p>	<p>◆答弁① ・ホームページや物産まつり等でのパンフレット設置、インターネット、SNSを活用しながら広く発信していきたい。</p> <p>◆答弁② ・PR不足かもしれない。知名度向上に向けいろいろな仕掛けをしていくことが大事だと考えている。</p>
<p>基本政策2「地域に根付く商工業の振興」 P72</p>	<p>・現状の5つ目の○、それから課題の4つ目にもある商店街のことだが、空き店舗対策や後継者不足についてどう改善していくのか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・人口も今と変わらない30年ほど前の商店街は、歩けば人にぶつかってしまうほどであった。そのような状況からどうして後継者不足などという事態になるのか。</p> <p>◆答弁②を受けて ・景気の低迷ということ。特に商店街は影響が顕著にでている。難しい問題だが打開していくには空き店舗を格安で貸し出すとか、無駄になるかもわからないが仕掛けてやってみなければ分からない部分もある。具体的に何かあれば示していただきたい。次に出てくる案に期待したいと思う。</p>	<p>◆答弁① ・商店街における商業振興を図るためには後継者不足という課題がある。三重大学とも連携して担い手養成塾などを開催しながら育成に努めている。</p> <p>◆答弁② ・商店街に恒常的な賑わいが不足しているということだと考えている。それが店舗の縮小へとつながっている。</p>
<p>基本政策2「地域に根付く商工業の振興」 P72</p>	<p>・現状の6つ目の○、イベントの開催をしていない時にいつも人が来られるようにするのはどうしたらいいと考えるか。</p> <p>◆答弁1を受けて ・京都や奈良のような観光地で外国人客が多くなってきており、この外国人抜きでは考えられない時代。どうしていくべきだと考えるか。</p> <p>◆答弁2を受けて ・行政でも外国語の習得が必須になってきたと感じる。観光や商業活性化を考える上でも重要だ。</p>	<p>◆答弁① ・地道なイベントや催しを通じてそれらが繋がっていくような仕組みが必要だと考える。</p> <p>◆答弁② ・三重県内の外国人宿泊者数を見てみると津市がトップである。今後どのようにアタックしていくべきか考えていく。</p> <p>◆答弁③ ・観光面だけでなく、市役所全体で必要性を感じている。英語を中心に語学研修も行っている。職員のモチベーションを高めていく。</p>

箇所	発言要旨	市議会における答弁要旨
基本政策4「交流人口の拡大」 P79 ○観光の振興	・一つ目の●に「おもてなし環境の充実に努めます。」とあるが、具体的には。 ◆答弁①を受けて ・弘前市の例だがボランティアガイドが無償で観光客の持ち時間に応じた案内をしてくれた。芸濃の名所めぐりのボランティアの活用のようなことを拡大できればいいのではないか。	◆答弁① ・観光コース、ボランティア、トイレ、駐車場など、ひと・もの両面からおもてなし環境の充実に努めていくということ。 ◆答弁② ・そのおもてなしの気持ちを大事に取り組んでいく。
基本政策4「交流人口の拡大」 P79 ○観光の振興	・サオリーナがオープンし、国体もある中で、人が市外から集まってくる。これに対してどう取り組んでいくのかということの記載がなかった。交流人口の拡大のなかにサオリーナに関して書き込みが必要だと思う。 ◆答弁①を受けて ・4年後に控える国体やそれ以降も大会が多く予定されているサオリーナ等をうまく活用したら、交流人口は増やせると思う。施設だけでなく、交通網や商工観光なども絡めたビジョンを記述することはできないか。 ◆答弁②を受けて ・人口減少が進むなかで、交流人口をどう維持していくかということが大事だと思う。明記できるものは、展望をもってしっかりやっていただきたい。	◆答弁① ・様々なスポーツ大会が開催される中で、たくさんの人に施設を利用していただく事になる。施設に来ていただいた方に、また津に来たいと思っていただけるよう、リーフレット等を置くなどして情報発信していく。 ◆答弁② ・多くの方が集まる施設であり、観光面からもこの機会をとらえ、PRや展示等で津市を知っていただけるよう努めていく。
基本政策4「交流人口の拡大」 P79 ○シティプロモーションの推進	・これまでも色々やってきた。近年でいうと映画があったが、認知度はあがってきていないと思う。創意工夫について、知恵を出す事が必要だと思うが、どう考えるか。 ◆答弁を受けて ・他の自治体の取組をよく見て、視野を広げる事が大切だ。	・昨年度のプロモーションビデオ「つ・がない世界」は、好評で、20万人超の方に視聴していただいた。農産物の紹介では、「津乃めぐみ」(キャラクター)を作って、色々取り組んでいる。 ・ただ単にPRだけではだめで、中身を伴って価値を高めていくとともに、ターゲットを絞る必要があると思う。様々な機会を活用して全庁的に情報交換して、市民の方からも様々な情報を得ながら、進めていく。

◇第3項 土地利用の方向性

箇所	発言要旨	協議会における答弁要旨

◆第3章 将来像の実現に向けて

箇所	発言要旨	協議会における答弁要旨
<p>第2項「高みをめざす行政経営」 「1 効率的で効果的な行政経営」の「(2)市民の期待に応え続ける志の高い組織」 P87</p>	<p>・一つ目の●「志の高い職員集団の形成」とは具体的にどういうことか。職員ひとりひとりがやる気を持てる環境づくりが大事だと思う。</p>	<p>・職員行動規範の目標に掲げており、朝会、コンプライアンス研修など様々な場面で意識の醸成と実践に努め、より高みに向けた志の高い職員集団をめざすということである。職員のモチベーションが上がるような環境づくりをしていく。</p>
<p>第2項「高みをめざす行政経営」 「1 効率的で効果的な行政経営」の「(3)地域をリードする基礎自治体」 P87</p>	<p>・地域をリードする基礎自治体とは。</p> <p>◆答弁①を受けて ・「基礎自治体」とはどういう意味か。</p> <p>◆答弁②を受けて ・地域をリードする、というのは他市町よりリードするという解釈で良いか。</p>	<p>◆答弁① ・三重県の県都として、財政事情も厳しい中、志を高くして、住み続けられる津市を目指したいという意味である。</p> <p>◆答弁② ・住民生活の基礎となる様々なサービスを行うのが基礎自治体。いちばん身近な行政団体という位置付けとなる。</p> <p>◆答弁③ ・志を高く持つ、という意志を示したもの。</p>

(その他、全般的なご意見)

箇所	発言要旨	協議会における答弁要旨
全般	<p>・目標1のところ为例示したように、複数の部局に横断するような内容、互いに関連する施策などがたくさんある。総合計画の記述の仕方として、部局横断的に記述するとか、注釈をつけて再掲するなどの方法を検討してほしい。</p>	<p>・庁内には、推進検討委員会、プロジェクトチームといった部局横断的な組織を設けているので、ご指摘の点は検討していく。</p>
全般	<p>・パブリックコメントはいつからか。</p>	<p>・本日の協議会で大きな修正がなければ7月から実施する予定。</p>
全般	<p>・何を指しているかというのかよく分からない。合併後10年が過ぎ、これからの津市についてもっと具体的な計画を記載すべきで、構想の期限を定めないのであれば、もっと強い表現をするべきだ。基礎自治体は何を指すのか。</p> <p>◆答弁①を受けて ・教育分野では6人に1人が貧困の子どもとこの計画に書かれている。「市民が幸せに暮らせる」ということを津市として責任がとれるのか。</p>	<p>◆答弁① ・住民の皆さんに最も身近な行政サービスを行う機関であって、市民の皆さんの身近な所でやるべき仕事をするのが基礎的自治体であり、津市民28万人にとって望ましいまちづくりを行うことによって、住み良いまちであり続けるとともに、皆さんに幸せをお届けしたいという願いを込めている。</p> <p>◆答弁② ・市民の中には幸せに暮らしてみえる方もいらっしゃれば、苦しんでいる方もみえる。市としては一人でも多くの市民に幸せな暮らしをしていただきたいということである。</p>